

市交際費の支出状況

令和元年6月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	2	15,000
	累計	2	15,000
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	3	12,200
	累計	12	47,800
賛助	今月分	1	4,500
	累計	1	4,500
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	1	52,200
	累計	5	71,584
会費	今月分	4	13,000
	累計	7	22,000
その他	今月分	0	0
	累計	2	7,200
合計	今月分	11	96,900
	累計	29	168,084

※くわしくは市のホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係  
☎75-2115

市長コラム

「寝た子はネットで起こされる」

同和問題で、「今でも差別はあるの?」「そつとしておけばいい。寝た子を起こすな」「自分は差別しないから関係ない。差別するつもりもないから大丈夫」という素朴な疑問や意見を聞くことがあります。

これらの意見は、同和問題を知らない人に話をするから、差別がなくなると考えている人がいるということです。これは「寝た子を起こすな」と言われるのですが、同和問題の話をするから差別がなくなるとは、パソコンのみならず、スマートフォンなどを利用する人が増え、わからない

tomoniki

ことがあると、検索サイトを開いて調べている人が多くいます。同和問題への質問に対して、寄せられる回答の約7割が、差別的で偏見に満ちた内容です。質問した人だけでなく、それを見る人も不特定多数いて、知らない人は安易に信じてしまうことにもなります。このことから、最近では「寝た子はネットで起こされる」と言います。

私たちが同和問題の話を「する」「しない」にかかわらず、偏見をうのみにして、差別に気付かない人がいることが問題ではないでしょうか。同和問題を正しく理解して、差別に気付き、差別をなくす努力をみんなですべていきたいと思います。

社会教育指導員 木村博重

Message for citizen



市長コラム



このコラムでも幾度か健康について書きました。「健康危機宣言」「健診行くのは今でしょ」等の内容でした。健やかでいてほしいとの願いからです。

市では保健師チームを軸に、医師会や関係スタッフの協力のもと健康増進に努めています。

そのおかげで多久市は厚生労働大臣表彰を受けました。生活習慣病予防に欠かせない「特定健診」「特定保健指導」の実施率で全国4位と7位でした。

まさに快挙です。「頑張ってくれてありがとう」と保健師職員に声をかけると「頑張ったのは受診された市民のみなさんです。なんとも爽やかな返答でした。健康への取り組みは、継続こそ力です。そこで7月末の各町嘱託員会で現状報告した内容の一端を紹介しましょう。

多久市は春に各種検診調査を回収します。受診勧奨でもありますが、今年は87・5%

健診・検診、お願いします

市長 横尾俊彦

と8%アップ。がん検診希望では「希望あり」「職場で受ける」「病院で受ける」の合計で約5割の人が自己管理されていると思われまます。でも「受けたくない」が8%程度。検診に対する不安などの先入観を払拭する啓発の必要性を感じます。

がん検診では、大腸がんは横ばい、肺がん、胃がんは減少傾向です。胃がんは胃内視鏡検診を2年前から開始し、当初は50歳代の偶数年齢対象としたものを、昨年から50〜68歳の偶数年齢に拡大し、検診料も当初の5千円から3千円に改め、受診しやすくしています。男女別のがんである、子宮がん、乳がん、前立腺がんはいずれも年々増加傾向です。ほかの部位のがんも検査でわかります。がんは早期発見で早期治療も可能です。かけがえのない自分自身の健康です。健診・検診を忘れずをお願いします。